

プロロジスパーク茨木

日本最大級の自走式・マルチテナント型物流倉庫

建物概要

- 所在地：茨木市彩都あかね
- 用途：倉庫業を営む倉庫

- 建築主：プロロジス（茨木特定目的会社）
- 設計者：清水建設株式会社関西支店一級建築士事務所

- 敷地面積：80,243.54㎡
- 建築面積：32,630.41㎡
- 延べ面積：189,741.77㎡
- 構造：RC造一部鉄骨造
- 階数：地上6階/地下-階
- CASBEE 評価：Sランク/BEE値 3.0
- 重点評価：CO₂削減 3.9 / 省エネ対策 3.9
みどり・ヒートアイランド対策 3.2



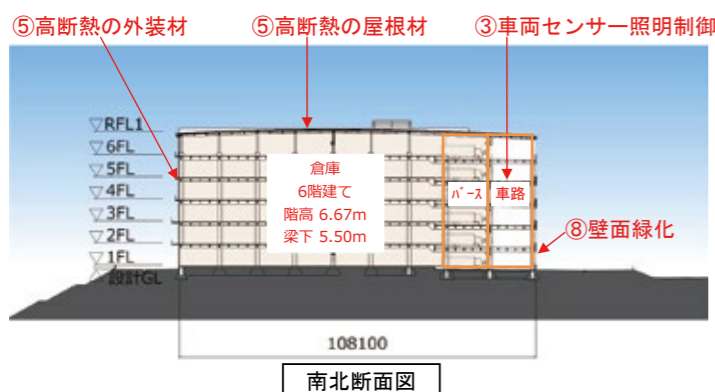
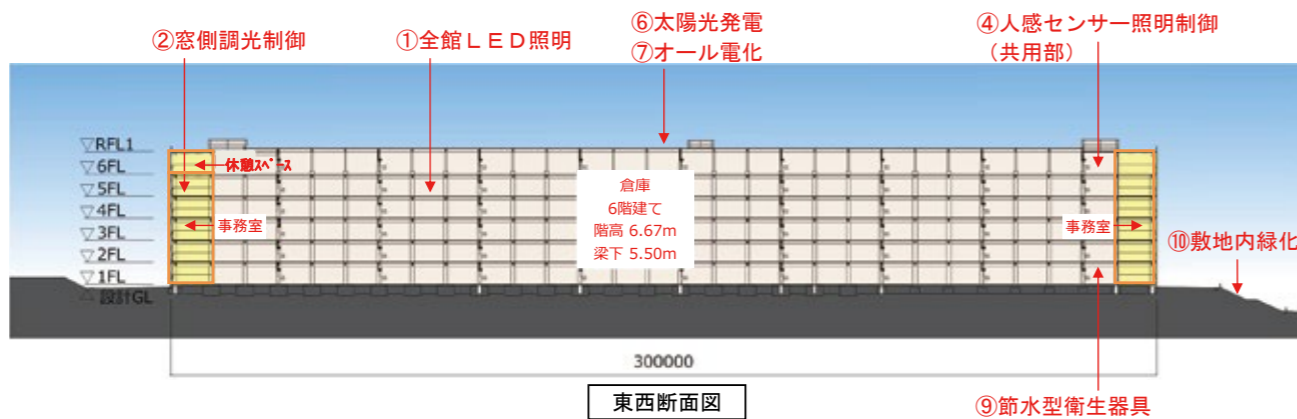
【立地、周辺環境】

北大阪の丘陵地に広がる国際文化公園都市「彩都」の中部地区に位置し、豊かな自然に囲まれている。大阪中心部へは約30分、名神高速道路「茨木IC」から5kmと西日本全域へのアクセスに優れた物流適地である。

【総合的なコンセプト】

日本最大級の自走式・マルチテナント型物流施設。45フィートコンテナが接車可能なトラックパースとランプウェイを装備。倉庫部分は入居企業の規模・ニーズに合わせて柔軟に対応できるフレキシビリティのある平面・設備計画とした。構造は大型倉庫に必要な大スパンを可能とするNewRCSS構法とし、さらに付加制振装置として座屈拘束型ダンパーを設け耐震性能を高めた。また約2MWの太陽光発電パネルや非常用電源、緊急地震速報システム、備蓄庫などにより入居企業の事業継続を支援し、全館LED照明や昼光制御、人感センサー、車両センサーなどを導入した最新の省エネルギー施設とした。敷地内を積極的に緑化することにより、周辺環境との調和に配慮した。

建物断面構成図



- ① 全館LED照明
- ② 窓側調光制御（事務室）
- ③ 車両センサー照明制御（車路・ランプ・外灯）
- ④ 人感センサー照明制御（廊下・階段・WC・ホール）
- ⑤ 高断熱の屋根材、外装材
- ⑥ 太陽光発電（屋根 2.0MW）
- ⑦ オール電化
- ⑧ 壁面緑化（歩行者アプローチ）
- ⑨ 節水型衛生器具（トイレ・パントリー）
- ⑩ 敷地内緑化（緑化率 35.4%）

環境配慮事項とねらい

- 照明の省エネルギー
 - ◆ 全館LED照明の採用【①】
 - ・全館に長寿命LED照明を採用
 - ・消費電力の削減と倉庫内での電球交換の負担軽減
 - ◆ 窓側調光の採用（事務室窓側）【②】
 - ・窓側の照明を明るさセンサーにより制御
 - ・自然光利用による省エネ効果
 - ◆ 車両センサー照明の採用（車路・ランプ・外灯）【③】
 - ・車路、ランプのLED照明をセンサーにより調光制御
 - ・屋外照明のエネルギー消費を約1/3に削減
 - ◆ 人感センサー照明の採用【④】（廊下、階段、WC、エレベーターホール）
 - ・人感センサーによる点滅制御とし、省エネに貢献
- 高断熱の屋根材、外装材【⑤】
 - ・屋根材、外装材にグラスウール、ロックウールをはさみ、断熱性に優れた材料を採用
 - ・開口部には熱線吸収ガラスを採用
- 太陽光発電【⑥】
 - ・屋根に約2.0MWの太陽光パネルを設置
 - ・再生エネルギー利用によるCO₂削減
- オール電化【⑦】
 - ・オール電化システムを採用し、燃焼設備の無い大気汚染防止に配慮
- 壁面緑化【⑧】
 - ・歩行者アプローチである西側1階ランプ外壁に壁面緑化を設置（カロライナジャスミン）
 - ・ユニット型壁面緑化システムでCO₂削減
- 節水の省エネルギー【⑨】
 - ・節水型トイレや自動水栓の採用
 - ・衛生器具に節水型器具等を採用し水使用量を削減
- 敷地内緑化【⑩】
 - ・敷地内を積極的に緑化することにより、周辺環境との調和に配慮
 - ・地域の自生樹木や環境条件に応じた多様性ある植栽
 - ・緑化率 35.4%、府条例で必要面積の2.7倍の緑地を確保。ヒートアイランド対策にも寄与

① 全館LED照明の採用



② 窓側調光制御



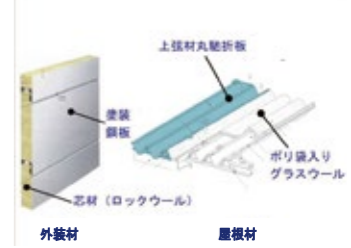
③ 車両センサー照明制御



④ 人感センサー照明制御



⑤ 高断熱の屋根材、外装材



⑥⑦ 太陽光発電とオール電化



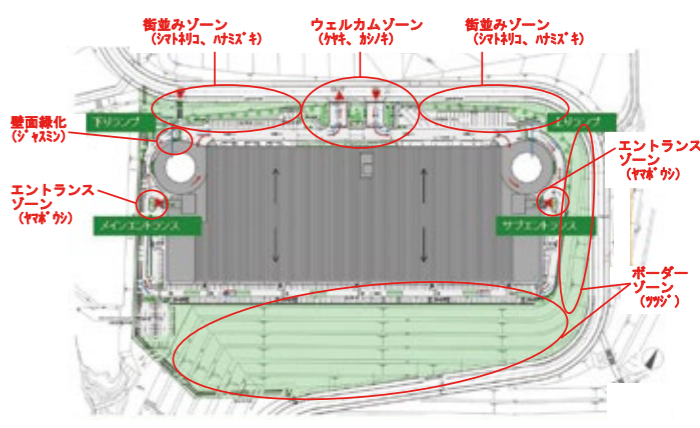
⑧ 壁面緑化



⑨ 節水の省エネルギー



⑩ 敷地内緑化



- 環境性能
 - ・CASBEE 認証 Sランク取得（竣工段階での第三者機関による厳密な審査を受け、最高評価のSランク認証を取得）
 - ・BELS 認証 5スター取得（竣工段階での第三者機関による厳密な審査を受け、最高評価の5スター認証を取得）
- 建物の快適性
 - ・高台の立地を活かした眺望の優れた休憩スペースを最上階に設置
 - ・環境配慮案内パネルを建物各所に設置することで、利用者の環境に対する意識向上に貢献
- 建物の長寿命化
 - ・ゆとりあるスパンと階高、床荷重による高い可変性
 - ・将来の設備増設を配慮した設備シャフト・設備スペースを確保
 - ・耐用年数の高い材料を積極的に使用し、建物の持続性に配慮
- 景観への配慮
 - ・道路からセットバックすることで、周辺まちなみへの圧迫感を軽減
 - ・屋外階段に化粧ルーバーを設け、設備バルコニーを化粧パネルで囲うなど外観に配慮

